

研究に関するお知らせ

レジストリデータを用いた治療抵抗性注意欠如・多動性障害の薬物療法に関する臨床的特徴

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター国府台病院児童精神科では、以下にご説明する研究を行います。この研究への参加を希望されない場合には、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんので、ご安心ください。

■研究目的・方法

注意欠如・多動性障害(ADHD)は児童精神科を受診する子どもたちでもっとも頻度の高い精神疾患の一つです。薬物療法が治療の選択肢の一つとされていますが、どの程度の割合でどんな臨床的特徴を持った子どもたちに効果があったのか、なかったかについて十分な情報が分かっていません。ADHDのお薬(コンサータ、ストラテラ、インチュニブ)を処方された当院児童精神科の子どもたちの処方状況、特徴を把握することが目的です。ADHDのお薬を3剤使用した経験のある子どもと、ADHDの診断を受けたけれども3剤のお薬は経験していない子どもとで臨床的特徴や外来経過、通院状況を比較します。

■研究期間

理事長承認日～2023年3月31日

■研究の対象となる方

2015年4月1日～2020年3月31日の期間で、児童精神科を受診した全児童が対象です

■ご協力頂く内容

上記の対象期間中に診療録に記録された診療情報(年齢、性別、診断、処方薬剤、生活歴、成育歴、家族歴等)・心理状態に関するアンケート等を、研究に使用させていただきます。国府台病院児童精神科では、これらの情報はレジストリデータとして蓄積しており患者様に新たな負担をお願いすることはありません。データベースに登録された時点で匿名化され、個人が特定されることはありません。データベースの使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則って個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

■外部への試料・情報の提供

研究データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。匿名化対応表は、国立研究開発法人国立国際医療研究センターでは当センターの個人情報管理者が保管・管理します。

■研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き等

あなたのご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。)

■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■当院の研究責任者：

国立研究開発法人国立国際医療研究センター国府台病院児童精神科 宇佐美 政英

■本研究全体の研究代表者：

国立研究開発法人国立国際医療研究センター国府台病院児童精神科 宇佐美 政英

■お問い合わせ先

実施機関名:国立研究開発法人国立国際医療研究センター

所属・役職:国府台病院児童精神科診療科長

担当者氏名:宇佐美 政英

電話番号: 047-372-3501 (代表) 受付日時: 平日8時30分から17時15分